

情 報 局 編 輯

週 報

歐洲戰局の教訓

附錄 改正列車時刻表

テニヤン・大宮島の血戦記

戦ふ物資 樟

甘 諸 の 貯 藏 法 腦

食糧の決戦増産

十月十一日 號
416 號

隣組・職場で必ず回覧を

五 錢

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

週 言

この頃はみんなが忙しいことと、防空工事などのために、家のまはりや街路が汚くなつた。環境が美しくないといふ人の心はすさむ。

戦局が緊迫し、生活上の困難は加はつても、明るくすがすがしい心持で暮らしたいものである。心が明るくすがすがしくければ、戦ふ力はますます強くなる。

一舉手一投足の勞である。自分の家まはりはできるだけ整頓し、前の道路は毎日掃除をし、心のゆかしさを示したいものである。

さうすれば住む人も、訪れる人も、道行く人も明るくすがすがしい気分になり、戦意は一層昂まるであらう。

テニヤン、大宮島の血戦記

大本營海軍報道部

サイパン島全島戦死の悲報未だ一億國民の耳底に萬雷の轟音を喚びつゝある時、今また我々はテニヤン島全島戦死の發表に慟哭せねばならなかつたのだ。さきにアツツ島あり、ギルバート島あり、マーシャル島あり、サイパン島あり、そしていま更に大宮島、テニヤン島あり、かくて我々は六たび全島戦死の報道を聞かねばならぬとは、何たる悲憤、何たる痛恨ぞ。我々はテニヤン島において壯烈なる戦死を遂げた皇軍將兵、ならびに一万五千の在任同胞の英雄に對し、こゝに襟を正して心から冥福を祈るとともに、その激しかつた戦闘の足跡を國民諸君とともに凝視し、斷乎報仇の決意を新たにしたい。

テニヤン島の奮戦

七月二十四日 午前五時頃、敵は多数の艦艇掩護の下にテニヤン港正面から約四十隻、西北岸から百四十餘隻の上陸用舟艇をもつて一齊上陸を企圖してきた。これに對し、テニヤン港方面においては敵艦艇一隻、驅逐艦二隻を炎上、巡洋艦一隻を撃



破、上陸用舟艇多数を撃沈して敵を完全に撃退した。しかし西北岸西砲臺附近では再度敵を撃退したが、敵は海岸一帯に亘る大規模な砲臺を展張し、熾烈なる砲臺の支援の下に、遂に正午頃には敵の一部が上陸するに至つた。そして同方面の我が守備部隊は、隊長以下殆んど殲れ、同日夕刻までには第一、第四飛行場からさらにハゴイケに進出してきた。その頃までに揚陸した敵兵力は歩兵三箇大隊、戦車約三十輛、砲兵一箇大隊に達した。同島守備の我が主力部隊は、同日夜中にいたり、全力を奮げて壯烈なる夜襲を敢行、翌朝曉まで肉薄戦を展開し敵陣地を一部奪取したが、敵を完全撃退するまでには至らなかつた。

二十五日 敵は依然として猛烈な砲撃を續行し、さらにサイパン島から續々と増援部

隊を主隊とせ、遂にその兵力は一箇師團にも達した。そして同日夕刻にいたるや、敵軍を伴ふ敵機は飛行場西端の海岸を襲ひ、日出神社附近にまで進出してきた。これに對し我が軍は、前夜に引き続き復讐攻撃の襲撃を強行した。敵機は海岸に妨げられて所期の目的を果すことが出来なかつた。

二十六日 日曜日に本島部隊は、サブネタパスよりマルボ地方に亘る線において敵を襲撃すべき態勢を整へたが、敵の前哨隊が来るに及んで、我が方の損害はますます増加するのみであつた。このため

二十七日 夜さらにカロリナス高地周邊地區に戦線を再整理し、最後の攻撃を敢行すべくその時機を待った。越えて

三十日 敵は第三飛行場附近に進出し來り、敵機は當時二十機以上が在空し、またサイパン島よりする偵察機もいく／＼強烈を極めるに至つた。

三十一日 早曉、我が部隊は敢然攻撃に轉じ、マルボイドー第三飛行場南側を激戦を展開し、血戦死闘の白兵戦は夕刻まで續けられ、敵に多大の損害を與へたが、我が方の死傷もまた續出した。かくて將兵の命數

既に定まりたるをもつて、傷重くして立つ能はざる者は悉く自決し、生存將兵一團と大いなる犠牲の犠牲を敢行したが、九月二十七日 頃までに全員壯烈なる戦死を遂げたるものと認められる。八月三十一日夕刻最後の總攻撃敢行の前に、同島最高指揮官より遺らされた遺言の實に平靜且つ誠實にして感服すべきことか。

「將兵の勇戦にも拘はらず遂にデニヤン守備の重任を果し得ず、光輝ある軍旗と共に最後を飾らんとす。茲に謹みて御託申上ぐると共に長期に亘る懇切なる御指導と激勵とに對し深甚なる謝意を表す。最後に遙かに御皇室の御榮と帝國の隆昌とを切に祈念す。」

あ、大宮島の最期

七月二十一日 早曉、大宮島上陸を試みた敵兵力は、明石灣に航空母艦數隻、戦艦、巡洋艦、驅逐艦等約三十隻、輸送船六十隻以上であるが、まづ空、海面よりする熾烈な砲撃の掩護の下に、水陸兩用戦車約百五十輛と上陸用舟艇約三百隻を浮かべて一齊に接岸し來つた。これに對して同方面の我が守備部隊は木田山砲兵陣地からの砲撃

と相呼應し、敵上陸軍に莫大な損害を與へ、珊瑚礁の線に釘付けにしたのであるが、敵は多量の兵力を後援せしめ、遂に正午頃には上陸を強行したのである。

また昭和海方面においては、同日朝八時頃に水陸兩用戦車五十輛と上陸用舟艇、百隻以上をもつて上陸を開始してきた。これを襲撃した我が部隊は、敵戦車三十輛を擱坐させしめるとともに舟艇多數を撃沈破したが、午後には敵は早くも海岸線から二キロの地點にまで進出してきた。

かくて同日夕刻までに上陸した敵兵力は明石灣、昭和海兩地區を合せて二箇師團以上とみられる。我が部隊は夜に入るや、兩地區、時を同じうして果敢なる夜襲を決行し、一時は見晴岬附近の海岸まで突進したが、敵の猛烈な艦砲射撃に妨げられて遺憾ながら敵を完全擱坐するには至らなかつた。

二十二日 にも敵の上陸は續行し、敵機は當時五、六十機をもつていく／＼猛烈を逞うした。

二十四日 敵はさらに黒濱附近に上陸せんとしたが、須磨附近守備の我が部隊は、まづ第一回は上陸用輸送船二隻、水陸兩用戦車二十輛以上をもつて突進し來つた敵輸送

船二隻、戦車十一輛を撃沈し、第二回は上陸用輸送船二隻中の一隻を炎上せしめて、敵を完全に擱退し、さらに灣内に碇泊中の一万トンの敵輸送船に砲弾二十七發を命中、火災を起さしめこれを遁走せしめた。

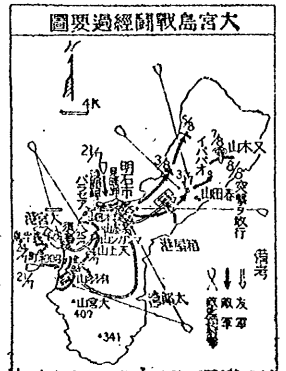
ところが昭和海方面の敵は、二十四日夕刻までに有羽山、天上山の線に進出し、敵車は有羽山の我が陣地を突破して、さらにその東方にまで進出してきた。須磨地區の守備隊は半島陸軍の飛行場を確保して、また昭和海方面の我が軍は奮戦よく敵の進出を阻止したが、敵機の跳躍いよく激しくなり、六月十一日以来二十四日までの來襲延べ敵機、實に七千機以上におよび、我が部隊の行動は非常に困難となつた。

二十五日 夜に我が軍は總力を結集し、陸海軍、機とあり、敵上陸部隊の主力を有する昭和海方面の敵を討滅し、昭和海方面におよび昭和海方面まで突進したが、敵の砲撃物凄く、有羽山附近から轉進した我が部隊は、太郎港から木田山附近までの僅か十五キロを進軍するのに、晝夜半も費したほどである。そして敵上陸以來、木田山地方高地を死守してゐた石井中隊は、敵軍艦の來攻を防ぐ橋となり、敵兵約一千名を殲

し、中隊長以下僅か十數名となるもよく任務を究うして赫々たる大戦果を挙げた。

また半島基部にあつた我が部隊は、この攻勢に相呼應して、天上山附近を經、茶屋山附近の我が部隊主力の位置に向ひ、敵中を突破して進撃したが、この激戦において我が方戦力もまた著しく低下するに至つた。しかしこの敵中突破に當つては、オロテ飛行場方面にあつて我が航空部隊と敵部隊の勇士達が榴弾を背負つて敵中に突入し、自らの肉體を犠牲して漸く敵大軍突破の血路を開くことが出来たのである。

二十六日 敵は我が兵力減少なるを知り、戦車を先頭に全線進攻に出で來りバラサ



オ、リリカントン及び同南方高地に突入し來ると同時に、トコヘリ高地にも逐次侵入してきた。

二十八日 には木田山南方高地までも敵戦車が現はれるに至り、戦況は頗る酷烈となり、我が部隊の火炮は僅かに六門を残すのみとなつた。よつて我が部隊は同島北部の森林地帯を利用して持久戦を策するに決し、二十九日 夜に入るを得つて轉進を開始し、三十一日夕刻までに春田山南地の線に我が戦線を整理したのであるが、敵上陸以來マンガ山にあつて奮戦、敵の進出を喰止めてゐた加藤砲兵部隊は、この轉進にあたり最後まで要點を據守して我が部隊の行動を容易ならしめた後、火炮と運命をともにして悲壯なる最後を遂げたのである。

八月三日 には戦車約三十輛を伴ふ敵部隊が我が陣地に肉迫し來り、この頃から我が部隊の指揮、連絡、補給は全く困難となり、遂にイバオ以西の地域に戦線を整理するのやむなきに至り、越えて五日には、既に戦線斷絶、紛戦状態となつた。

七日 又木田山の我が部隊司令部附近に集結し得た戦ひ得る將兵は、陸海軍合せて僅か三百名に過ぎず、しかも既に一門の火炮

訓教の局戦洲歐

この敗残者の宿命は、今度の戦争の最初の裏切者パドリオと、戦ふ意志を失ひ、彼に殉じたイタリア國民の上にまつた。あの當時敵反艦艇隊は北阿政略の餘勢を驕つてイタリアを、かまひ伊木土に對する空爆は目を迫うて強化され、食糧も衣料も空しくなり、國民と軍隊の間にはややく敗戦主義的な気分が起つてゐた。これを狙つてふち込まれたのが、敵米英の巧みな謀略であつた。ムッソリーニを迫ひ出せ、ドイツを放逐せよ、然らばイタリアは再び國民の國家に立戻り、和氣諒々たる歐洲の尊敬すべき一員としての地位を占めるであらう。これが聯合國(反艦艇)の目的である。といふ呼びかけは既に敗戦主義の憐れむべき虜となつてゐたイタリア國民の心を捕へずにはゐなかつた。

名譽ある降伏し如何にも立派な言葉であつたが、軍門に降つたパドリオに強請されたものは、血も涙もない冷酷な「無條件降伏」の條件であつた。「こんなはずではなかつた」と眼を醒ましては既に遅く、パドリオは米英との休戦條約に調印し、青島の艦を永く歴史に留め、こゝになつたのである。去る八月十三日、ドイツのフェルキツシャーベオハタール紙は、その内容なるものを暴露し、多大の衝動を與へた。イタリアの艦艇、飛行機、要索を反艦艇側に譲渡し、戦後は海運と航空の管理を受け、徹底的な軍備縮小を行ふ。そしてアフリカ及び地中海の領土のみならず本土の一部さへもフランス、ユーゴスラヴィア、ギリシャ、イギリス等に割譲することを容認し、イタリアの多くの港を反艦艇國のための泊出港とすることも承認してゐるといふのである。しかもなほ、イ

幻滅のイタリア

勝利が没落か、生か死か、そのいづれかがあるのみ、警でヒトラー總統は、今度の世界大戦の結末をかく喝破したが、最近に急迫した決戦様相は、このことを生しい事實として我々に教へてゐる。この奇烈な戦ひの試練に堪へかね、厭意を喪失し戦線を離脱せんとしたもの、或ひはまた反艦艇側の甘い謀略に乗つて、その傘下に平和と自らの幸福繁榮を夢みた國々が、いま如何なる境遇に置かれ、如何なる運命を辿りつゝあるかを正視するとき、この歴史の審判の厳しさに、我々は慄然たるものをさへ感ずるのである。

名譽ある降伏し如何にも立派な言葉であつたが、軍門に降つたパドリオに強請されたものは、血も涙もない冷酷な「無條件降伏」の條件であつた。「こんなはずではなかつた」と眼を醒ましては既に遅く、パドリオは米英との休戦條約に調印し、青島の艦を永く歴史に留め、こゝになつたのである。去る八月十三日、ドイツのフェルキツシャーベオハタール紙は、その内容なるものを暴露し、多大の衝動を與へた。イタリアの艦艇、飛行機、要索を反艦艇側に譲渡し、戦後は海運と航空の管理を受け、徹底的な軍備縮小を行ふ。そしてアフリカ及び地中海の領土のみならず本土の一部さへもフランス、ユーゴスラヴィア、ギリシャ、イギリス等に割譲することを容認し、イタリアの多くの港を反艦艇國のための泊出港とすることも承認してゐるといふのである。しかもなほ、イ

とてもなかつた。同夜電報にして立つ能はざるものは、天皇陛下萬歳を奉唱しつゝ、深く自決した。

八日 夜半に入るや、最高指揮官自ら自ら騎して陣頭に立ち、又木山南方三叉路附近の敵群中に最後の突撃を敢行した。模様で、戦後生存者は五旬の長きに亘り各局地に遊撃戦を敢行したが、

九月二十七日 頃までに陸海軍全員壯烈なる戦死を遂げたものと認められる。

尊き時に應へよ

敵の壓倒的な物量攻勢に對し、我が將兵は豪勇よくこれに對抗しつゝ、しかも常に冷静を失はず、火と煙を燃る闘魂を抱き「日餘に亘る砲撃下、惨烈の砲所に立つも、なほ朝夕軍人勲章を奉誦する將兵の聲は激々として砲間に木霊して神靈に觸るゝ感あり」と打電された最高指揮官の報告の如何に崇高にして力強きことか。また「大元帥陛下の我等將兵を垂れさせ給ふ大神心に對し奉りては、只、感泣の外なし。皇師の必勝を確信し、最後の一兵に至るまで敢闘を續行せん」との報告こそは、我が軍人精神を遺憾なく發揮せるものであり、同時に戦後一億國民の反復熟讀すべき

決戦刻々に肉迫す

アンガウル島ならびにペリリュー島に上

言葉である。かくて大宮島における二箇月の奮戦が作戦全局に重大なる貢献をなしたことはもとより、戦後生産部隊に對し二箇月といふ貴重な「時」を與へたことは我々の銘記すべきところである。「當部隊の苦闘が作戦全局に大なる寄與をなしつゝあるを聞き、光榮これに過ぎず、死所を得たるを悦ぶ」と最高指揮官は報告してゐる。

前線將兵がかくの如く常に喜んで戦死されてゐるとき、もし萬一にも戦後の戦域において一人でも戦意業者があつたならば、その罪まことに萬死に値ひするのだ。

最後に我々の昨日すべきことは、テニヤン島における一万五千名、大宮島における五百名の我が在任同胞もまた悉く皇軍と運命を共にして全員悲愴なる最後を遂げたことである。テニヤン島においては、老幼婦女子に至るまで皇軍に協力し、特に十六歳から四十五歳までの青年男子約三千五百名は進んで義勇軍を組織し、敵部隊に分裂皇軍に配属され、皇軍と渾然一體となり勇戦奮闘戦死を遂げたのである。

陸したニミッツ機動部隊は、今やパラオ、ヤップの西カリオン諸島を制して比島への物量攻勢を企圖してをり、さらにまたピアタ島占領をもつてニューギニア西進作戦の終止符を打つたと豪語するマックアーサーは、今や既にモロタイ島に上陸し、アラフラ海を越えて比島への騎り道を急がんとしてをり、かくて我が南方作戦の據點であり生命線である比島は、今や日米決戦の劇場的戰場として選ばれるに至つたのだ。

皇紀二千六百年の歴史と傳統に輝く我が國家、我が民族がいよ／＼驕敵を撃滅するか、或ひは地球上から抹消されるかといふ危急存亡の最後の關頭に直面したこの際に大宮島、テニヤン島における全員戦死の尊き血と肉の犠牲において、一分一秒をも漏らす戦後生産陣に對し、二箇月有餘といふ莫大な「時」を齎らしたことは全く特筆大書すべき赫赫たる戦果であらう。

決戦に満ちたる皇軍の不氣味な沈黙の裡に、今や眼前に刻々と肉迫しつゝある秋、我等はマリアナ諸島を鮮血に染めて敵つた幾多皇軍將兵と在任同胞に對し、深甚なる感謝を捧げるとともに、それら幾方の英靈に應へるためにも、今こそ一億國民最後の死力を結集せねばならぬ。

タリヤ國民二百方を發働者として提供する
約束までしたといふ。

國を賣り、國民を欺く、これ以上の破廉恥、この屈辱があらうか。といつてみたとしても、前途の祭である。たゞこゝに我々は電報の末路と、骨までしゃぶらうには、ない策の本性を、つきりと掴むことが出来るのである。

かゝる屈辱的降伏が行はれてから既に一年が過ぎ、数米英がイタリヤ國民に呼びかけた「和氣篤々たる歐洲の尊敬すべき一員としての地位」は、果して與へられたであらうか。隨つて否、與へられたるものは、幻滅の悲哀と、根の根と、絶望の歎息のみである。

最近、反復降伏強硬派代表ウエルター・ゾグウェルネスといふ男が、反復降伏軍の占領下にある中部イタリヤの實情を、詳しく報告した。後、ローマで新聞記者に會見し、「物質的に、物價暴落甚だしく、労働者は大部分正常な職業を有せず、幼児の死亡率は増加し、ローマ地方では出生の四割五分は達してゐる」と語つてゐる。

「生れた子供の半分近くが死ぬ」とは、何と悲惨な事實であらう。いはば反復降伏軍の國情を、かうまでぶちまけて訴へてゐるところをみると、敗残の中南イタリヤの窮狀が思ひやられる。パドリオ内閣が崩壊して、

ボノミ内閣 になつてからも、ソ聯の勢力と米英の勢力とが渦を捲いて、政情も漸く複雑を極め、米英軍占領下の窮狀は一段と深刻を極めてゐる。米英軍が多数入り込んでからは軍票を濫發し、ためにリラ貨の紙幣は殆んど購買力を失ひ、食糧、わけでも野菜、卵、小麦粉等の不足が甚だしい。パンの配給など一日七十五グラムに過ぎず、「米英に降伏すれば腹一杯食べられる」といふ愚かなる希望は完全に裏切られ、「イタリヤの飢饉は米英國內でも問題とさへなつてゐるといふことである。

米英軍のローマ占領後も事態は變らず、國民の大多数が失業し、ローマ市内など、働くに職なく、食ふに食なき失業者がうよよとして、人品賤しからざる男女が街頭に物乞ひをする情景を、さへ現出してゐるさうである。そして、かうした國民大衆の失望と

反感とは、一種のソ聯への依存心を生じ、共產主義運動の温床ともなり、ときには憤激は爆發して、パン屋を襲撃する事件も起り、犯罪は増加するし、國民の道義の頹廢、風紀の紊亂、眼に餘るものありと傳へられ、國家崩壊の一途を辿りつゝありといふ。

往年ローマ帝國を築き上げたイタリヤ國民の輝かしき傳統と氣魄も、今や何處にも我々は戦ひを放棄し戦ひに敗れたるもの、甘受すべき惨害の姿を、今こゝにまさしくと見せつけられるのである。

ルーマニアの屈辱

つい最近で、かうした敗残の運命が展開されてゐるにもかゝらず、ルーマニア、フィンランド、ブルガリアと、樞軸諸國が相次いで、前軍の轍を踏み、深刻な苦悶に身を投じつゝある事實は、現在のバルカンにおける歴史の宿命であるかもしれないが、我々の深く感むところである。

バルカン動亂のきっかけを作つたルーマニアの裏切りも、今春行はれてゐたソ聯並びに米英側の謀略と、國民大半の戦意喪失がもたらしたものである。去る八月

二十三日、國王ミハイル一世は、敢て款を遁じた側近者の暗躍によつて、突如アントネスコ將軍を退け、サナテスコ侍從武官長を首相とする政黨獨立内閣を組織せしめた。この内閣は直ちに對ソ軍事行動の停止、對米英戦争の中止を宣言し、次いでドイツに對し宣戦するに至つた。爾來モスクワで關係國の間で交渉がつけられてゐたが、九月十二日英米ソ羅間休戦協定が正式に調印された。

さて、明るみに出された休戦協定とはどんな内容のものであらうか。
まづ領土については、一九四〇年の國境線の復活、即ち獨ソ戦争の初め、ルーマニアがドイツの援助により奪回したベッサラビア及び北ブコヴィナ兩地方は、再びソ聯に編入するが、同年ドイツの斡旋でウイーン協定の結果としてハンガリーが取得したトランシルヴァニアの全部または大部分をハンガリーからもぎとつてルーマニアに返還してやると、割合に寛大のやうであるが、
一、賠償金、米貨三億ドル、石油、小麦、木材、船舶、各種機械等の現物を以て六ヶ年の年賦拂ひとする。

一、赤軍並びに反復降伏軍司令部が機能遂行のため必要とする資金は、ルーマニア政府において定期的にルーマニア貨を以て同司令部に拂込み、さらに同司令部の訓令に基づき工業施設、輸送機關、通信機關、發電所、燃料、食糧その他の物資、勞務を提供する。ルーマニア船舶もまた赤軍並びに反復降伏軍司令部の作戦上の統制を受ける。

一、ルーマニア民政は戦線より五十乃至百キロ後方においてのみ認めらる。
一、一切の刊行物の出版、輸入、普及、演劇映畫の上演並びに放送局、郵便、電信及び電話の運営も、聯合國との協定によつて行ふ。
一、政治的、産業的、文化的には正にルーマニアの死命を制するものである。
これらにも増して、休戦によつて戦ひから解放されようと思つた國民を失望せしめたのは、赤軍及び反復降伏軍の領土通過と、これに對するルーマニアの負擔によるあらゆる便宜供與が約束されたことと、ドイツとハンガリーに對して宣戦し、十二師團以上の兵力を繰り出さねば

ならなくなつたことであらう。
トランシルヴァニアの回復の策謀は、八月二十日九日ストライイ内閣に代つてラコトス大將が内閣を組織し、ドイツと緊密に協力して戦力の強化を圖り、カルパチヤ山中においてソ聯聯合軍を邀撃して果敢な戦闘を行つてゐるが、赤軍はユーゴスラヴィア方面にまで進出してゐる。

盟邦ドイツを裏切つて反復降伏軍に走つたルーマニアは、今やソ聯の強壓によつて昨日までの盟友獨逸との戦ひに、自らの犠牲において狩り出され、獨逸からの腐爛戦を受け、かへつて國內を戰禍の巷と化せしめる愚を招いたのである。
しかし、さすがに、かゝる國王一派の裏切りに對してルーマニアにおける國家主義者が奮起し、鐵衛團長ホリアシマ氏を首頭に國民政府が組織されてゐる。

勃、戦禍離脱空し

ブルガリアの戦線離脱への希望も空しく、米英ソの露藤の波に揉まれて、かへつて赤軍の戦禍を自ら招く結果になつた。カイロ

で悉美と停戦協定を進めてある最中、九月五日、中立の省の下に對獨援助を行つてゐるとの理由で、ソ聯から突如宣戦を布告されたブルガリアは、ムラヴィヨフ内閣が取敢へずソ聯に休戦を申入れ、對獨協定を行つたが、ソ聯はこれを容れず、九月八日赤軍をブルガリア國內に進駐せしめた。かくてムラヴィヨフ内閣は瓦解し、元首相ゲオルギエフが首相となる。

親リ内閣が成立 し、九月九日ソ聯はブルガリアにおける軍事行動を一旦停止したが、その後残る種の協定の下とはいへ、第三ツクライナ戦線軍は十六日首都ソフィアを占據後、勃土、勃希國境方面へ南下してトルコに不安を感ぜしめ、さらに他方エトロープスラヴィアに兵を進め、トルコ軍との連絡を断つた。この方面に對するソ聯の積極的意圖を示した。

一方、このこと小國ブルガリアが、米英ソ間に特殊な關係があるのを利用して自國の立場を救はうとしたが結局、かへつて事志を違ひ、散々な目に遭つたことを訓へるものである。いま米英ソ間で話が進められてゐるブルガリアに對する休戦協定も、ブルガリアが當初期待したであらうところとは似てもつかぬものであらうことは疑ひの餘地はない。

芬、和平を希求の代償

フィンランドに對する反俄備前の強硬もまたこれと大同小異のものである。わづか三百方の人目を以て今日まで苦戦をつゞけたが、戦力消耗し、和平派の聲援が強まり、マンネルハイン新大統領の下に首相となつたハクツェルは、八月末以來ソ聯と休戦に關する交渉を開始し、九月二日遂にドイツと締結したのであるが、九月十九日ソ芬休戦協定が調印された。

これによつてフィンランドは、今度の獨ソ戦争でドイツと協力して奮闘したカレリア地方を再び失つて一九〇四年の國境線に戻り、さらにソ聯に對しベツツモ地方を割譲、重要なボルカラ地域を五十年租借し、西南フィンランドにおける飛行場と船舶とを提供し、アーランド島の武装を解くことを約束せられた。賠償金はルーマニアと同様、三億ドルで、反艦備前の今後戦争に必要な一切の資料、生産品も供出せねばならぬ。

らない。ルーマニアのやうに兵力供出は強制されなかつたが、ドイツだけでなく、ドイツの國境線との衝突と、二月半以内フィンランド軍を平時復員することが要求された。

かゝる休戦協定が行はれた後も、北部では獨芬兩軍の間に戦闘を招き、所詮、**國內戰場化** より免れ得ない有様となつてゐるとも傳へられ、フィンランドは結局、戦線離脱による不和の希望も達成されなかつたのである。

敵軍のニューヨーク、ワールド・テレグラフ紙まで、
「ソ芬休戦協定は和平など締結すべきものでないといふ道例だ。これでは大西洋沿岸も、モスクワの協定も、乃至反艦備前諸國が公正且つ民主主義的平和のために行つた公約も、一體どうなるのだ。フィンランドをソ聯の傀儡とするなら結構な出資だが、自由且つ平和な歐洲を建設するには失敗だ」といつてゐるのは注目される。

獨、負けられぬ一戦

今度の戦争は急行列車で激進してゐるや

びなもの、途中で飛び下りれば死ぬるのみだといふゲッペルス宣傳の言葉を、ドイツ國民はドイツを裏切つたこれらの戦線離脱者の敗戦の姿から、十二分に學び取り、最後勝利をめぐして、ひたすらなる戦進をつゞけてゐる。

第一次歐洲大戦において自ら味方つたあの苦々しい經驗と、今度の戦争で見せつけられてゐる敗者の運命とを、よく噛みしめて「今度の戦争においては勝利か、然らずんば死のみ。しかも皆ては指導階級だけであつたが、今度は全國民が運命を共にするのだ」といふことを一番肝に銘じてゐるのだ。といふことを一番肝に銘じてゐるのだ。といふことを一番肝に銘じてゐるのだ。

ドイツのいま外に、内において直回しつゝある困難が、開戦以來の最大のものであることは、我々も想像し、ドイツの爲政者も率直に認めてゐるところである。事部戦線においては、フィンランド、ルーマニア、ブルガリアの脱落によつて形勢の頗る不利を加へたが、獨軍は赤軍の反攻にもかへばらずワルシャワを確保し、東プロシヤ國境方面でも善戦をつゞけてゐる。一方、西部戦線では九月十七日以來、敵がオ

ランダ中南部に對し降下せしめた空挺軍團多数に激波の打撃を與へ、敵の猛攻にもかかわらず、ジグフリート要塞を確保せんとして一部反撃に出るなど、士氣依然として旺盛である。なかでも年齢十七、八歳の少年兵の數々の武勳には我々の胸を打つものがあつた。今やヒトラー・ユーゲンツ訓練も全く戰時的に切替へられた。十八歳以下の少年にも軍隊式散髪が命せられ、狙撃やゲリラ戦の訓練が施され、戦車砕碎歩兵小隊まで編成されて、あの北佛ノルマンディ戦線の健闘や、こんど空挺部隊の激波には、これら少年兵の元氣一杯の活躍に負ふところが多しといはれる。

いまドイツにおいて、何物にもまして頼もしさを感ぜしめるのは、前大戦の苦境の中からヒトラー總統と共に生長したナチスドイツの青年が、一つの世界觀の下にその指導力を揮ひ、闘魂を燃やしてゐるといふことである。彼等にはヒトラー總統によつて民族の理想が與へられ、不屈の闘魂が養はれて来た。戦線離脱國の横出も決して彼等の闘魂をにぶらせるものではなく、かへつてドイツ民族の團結への拍車とさへ

なつた。あのナポレオン戦争の際、少女が金髪を断ち切つて國家に献納し、農夫は鎌を、市民は獵銃や銃棒を提出して戦線に急ぎ、庶民の中によくプロシヤの闘争をもたらし民族の闘魂が、いま再びドイツ國民の中から燃え上り、新らしい民族戦争の旗印の下に結集されてゐるのである。

ドイツの統後

は苦しいに違ひない。しかし敵英國國民もあのダンケルクの悲劇後の最大の苦難に堪へ、ソ聯も三年前にスターリンゲラードまで追ひつめられ、歐羅巴の大半資源と工業の大部分と数百万の人を失つた時は、今のドイツよりも苦しかつたに違ひないが、よく頑張つて今日の力を盛り返した。いまドイツがこの危機を克服せねばならぬ運になつてゐるのである。統後においては根こそぎ動員が行はれ、男子が戦線に赴いた後を、五十歳のお婆さんも軍需工場に通ひ、或ひは家庭で軍需生産に従事し、劇場、享樂會館等の閉鎖で俳優や踊り子も、ハンマーをにぎり、鎚をとつて生産に従事してゐる。食糧の配給も九月十六日から多少削減され、煙草など一日男子二本、女子一本とい

保れるが、パン、バター、肉等の最低生活は保証され、國民のすべてが敗れられぬ一戦にすべてを捧げ盡して戦つてゐるのである。敢て反側は、この時はかりとドイツの工場に集中攻撃を、生産力の低下を狙ひ、ケベック會議の結果とか何とかいつて、盛んに戦後のドイツ處分案とか分劃案とかを發表して、ドイツ國民の士氣の沮喪を意圖してゐる。しかしながら

「敵はドイツを地圖の上から抹殺しようとしてゐるのである。萬一ドイツが負けた場合は、ドイツ人の男も女も、奴隷労働者として世界中に送られることになるのだ。ドイツ人は自由と共に、その精神的活力を奪はれ、その肉體力はシベリアの鉄山、アフリカの熱帯地獄、オーストラリアの沙漠、アラスカの寒地において破壊されようとしてゐるのだ。生存のための戦ひ、自由のための戦ひ、ドイツ人全體の命のための戦ひが我等の運命である」

と、獨新聞局長代理ズンダーマン氏が言つてゐるやうに、ドイツ國民は、ドイツが萬が一戦争に負けたり、どうなるかを一番

よく知つてゐるが故に、戦ひに徹してゐるのである。

ゲッベルス總力戦長官は、十月四日國民を總武裝する

「國民擲弾兵團」の結成を發表し

「ドイツ國民は武器を投げ出す位なら手から血が出るまで働き、最後の息が絶えるまで戦はう。」

と一人々々が要索となつて、あくまで戦はんとする決意を宣言した。

嘗て歐洲戦争は今年中にかたづくやうなことを廣言してゐたチャーチル英首相が、去る九月二十八日、下院で長時間に亘つて演説し、その中で、

「戦局の好轉に有頂天になり、歐洲の戦ひが間もなく終了を告げることを期待するのは全く尚早であり、絶対に同意できない。歐洲の戦ひが果していつ終止符を打つかについては、余は敢て臆測しない。最後の技術と認識と責任を持つ人の間に一九四四年（今年）末までに歐洲の戦ひが終つてしまふだらうとの希望を抱く人が多いが、戦ひが一九四五年（来年）に持越し數ヶ月を必要とするやう

なことはないと言つてゐる人は一人もゐない。もちろん余は決してかゝる保證を與へないであらう……」

と、戦局の樂觀を成めるに至つたことは、他にも狙ひはあらうがドイツの對抗手段の効果を認められたものともみられ、興味ある點である。

我々は盟邦ドイツがこの大なる試練を立派に克服し、究極の勝利の日を迎へんことを祈つてやまないものである。

勝利は戦ひ抜く者に

敵はわが大東亞に對しても、武力攻勢の強化と相俟つて、謀略攻勢に必死である。例のカイロ會議以來、日本處分案の如きものをでつち上げて宣傳してゐる。また最近ではケベック會議のルーズヴェルト・チャーチル共同聲明の冒頭に「……日獨兩國に對する作戦をあらゆる角度から検討した結果、今や最終段階に近づきつゝある歐洲戦争の完結並びに太平洋の野蠻人擧げに關し、あらゆる點で決定に達した」等と不遜の言辭を弄してゐる。また「ジャップ（意）日本人をかう侮蔑して呼んでゐる」は獅々や、

スカンク（意）のやうなもの同様で、それ以上に取扱ふ必要はないから、ジャップも大文字で書き出す必要はない、小文字でよい」といふやうな議論が最近敵米の新聞で行はれてゐるやうだが、一方、注目し値ひするところは、敵米が太平洋戦局に關しても、従来の對日侮蔑や發難論を戒めて來てゐることである。

その代表的なものは、九月二十五日戦時情報局から發表された

太平洋の戦局 に関する報告書であるが、その中に

「太平洋戦争において米國がとつてゐる作戦の計畫の現状からみれば、日本を破るには數ヶ月どころか、數年の歳月を要するであらう。假りにドイツが敗れたから日本に對し全面的な攻撃を加へても日本を完全に打倒するには少くとも數年を要するであらう。日本の國內朝野などはもろり得ず、またこれを期待することは出来ぬのだ。戦局がいよいよ險惡になつても、日本人は心理的にも經濟的にも參るやうなことに考へられぬ。一杯の飯を半杯にしても、日本人は最後まで頭張るの

だ。日本を完全に打ちのめすためには、その人的資源と資材の完全な破壊を圖らねばならぬ。日本は長期戦によつて反糧軸が疲弱するに達することを期待してをり、日本の指導者も戦争を長びかせ、反糧軸の消耗を圖り、戦局の頓挫を圖らうとしてゐる……」

といふやうな一節がある。ドイツが今にも敗れ「日本が打倒できる」やうなことをいつてゐるあたり、多分に謀略意圖が含まれ、またこの發表には十一月七日に迫つた大統領選挙戰に對するルーズヴェルトの選挙運動の含みもあると思はれる。しかしこれは米國內で歐洲戦争が近く終りさうだ、さうしたら軍隊も復員させて戦時産業も一部民需に切替へよう」といふ樂觀論が注進されて、發難論が多くなつたり、この意見の對立を繞り戦時生産局長官ドナルド・ネルソンの辭職事件まで起つてゐる事實を反映すると共に、太平洋における、また大陸方面におけるわが反撃が堅固で、敵のあつた物量攻勢にもかゝららず、思ふやうにゆかないことと言譯ともみられよう。わが將兵、同胞が太平洋上

血の防波堤を築いた、あのサイパン、テニヤン、大宮島と相次ぐマリアナの勇戦奮闘、或ひはまた北部ビルマ戦線の善戰、或ひはまた最近のペリリュー島の肉弾挺身隊の活動等、皇軍魂の精華の顯現するところ、敵に不可解なる障礙を與へ、敵米内において

「恐らく勝利者による戦後の占領以外には深く根ざしてゐる日本の神聖不可侵といふ普遍的な信條を破壊し去るには十分でない。即ちこれは、日本の撃波は物質的以上のものでなくてはならぬといふ別の言ひ方である」

といふやうな論調をさへ招くに至つたことが今日の慎重論を導いたともみられよう。敵も眞剣であり、本腰である。我々もこの驕傲を撃破すべく決戦の神機來るを期してゐる。今こそ我々はこの決戦を決勝の機會たらしめねばならぬ。我々はこゝに示された東西の戦訓をよく噛みしめ、そして前線に馳れたあつた將兵と同胞の胸中を思ひ、憤激を新たにして、敵米英の擧げに一路奮進し、以て聖慮を安んじ奉ることを固く期さねばならぬ。

東北・常陸線		奥羽線		信越・上越線	
種別	名	種別	名	種別	名
野	125	野	401	野	513
大	126	大	402	大	514
上	127	上	403	上	515
大	128	大	404	大	516
野	129	野	405	野	517
大	130	大	406	大	518
野	131	野	407	野	519
大	132	大	408	大	520
野	133	野	409	野	521
大	134	大	410	大	522
野	135	野	411	野	523
大	136	大	412	大	524
野	137	野	413	野	525
大	138	大	414	大	526
野	139	野	415	野	527
大	140	大	416	大	528
野	141	野	417	野	529
大	142	大	418	大	530
野	143	野	419	野	531
大	144	大	420	大	532
野	145	野	421	野	533
大	146	大	422	大	534
野	147	野	423	野	535
大	148	大	424	大	536
野	149	野	425	野	537
大	150	大	426	大	538
野	151	野	427	野	539
大	152	大	428	大	540
野	153	野	429	野	541
大	154	大	430	大	542
野	155	野	431	野	543
大	156	大	432	大	544
野	157	野	433	野	545
大	158	大	434	大	546
野	159	野	435	野	547
大	160	大	436	大	548
野	161	野	437	野	549
大	162	大	438	大	550
野	163	野	439	野	551
大	164	大	440	大	552
野	165	野	441	野	553
大	166	大	442	大	554
野	167	野	443	野	555
大	168	大	444	大	556
野	169	野	445	野	557
大	170	大	446	大	558
野	171	野	447	野	559
大	172	大	448	大	560
野	173	野	449	野	561
大	174	大	450	大	562
野	175	野	451	野	563
大	176	大	452	大	564
野	177	野	453	野	565
大	178	大	454	大	566
野	179	野	455	野	567
大	180	大	456	大	568
野	181	野	457	野	569
大	182	大	458	大	570
野	183	野	459	野	571
大	184	大	460	大	572
野	185	野	461	野	573
大	186	大	462	大	574
野	187	野	463	野	575
大	188	大	464	大	576
野	189	野	465	野	577
大	190	大	466	大	578
野	191	野	467	野	579
大	192	大	468	大	580
野	193	野	469	野	581
大	194	大	470	大	582
野	195	野	471	野	583
大	196	大	472	大	584
野	197	野	473	野	585
大	198	大	474	大	586
野	199	野	475	野	587
大	200	大	476	大	588
野	201	野	477	野	589
大	202	大	478	大	590
野	203	野	479	野	591
大	204	大	480	大	592
野	205	野	481	野	593
大	206	大	482	大	594
野	207	野	483	野	595
大	208	大	484	大	596
野	209	野	485	野	597
大	210	大	486	大	598
野	211	野	487	野	599
大	212	大	488	大	600
野	213	野	489	野	601
大	214	大	490	大	602
野	215	野	491	野	603
大	216	大	492	大	604
野	217	野	493	野	605
大	218	大	494	大	606
野	219	野	495	野	607
大	220	大	496	大	608
野	221	野	497	野	609
大	222	大	498	大	610
野	223	野	499	野	611
大	224	大	500	大	612
野	225	野	501	野	613
大	226	大	502	大	614
野	227	野	503	野	615
大	228	大	504	大	616
野	229	野	505	野	617
大	230	大	506	大	618
野	231	野	507	野	619
大	232	大	508	大	620
野	233	野	509	野	621
大	234	大	510	大	622
野	235	野	511	野	623
大	236	大	512	大	624
野	237	野	513	野	625
大	238	大	514	大	626
野	239	野	515	野	627
大	240	大	516	大	628
野	241	野	517	野	629
大	242	大	518	大	630
野	243	野	519	野	631
大	244	大	520	大	632
野	245	野	521	野	633
大	246	大	522	大	634
野	247	野	523	野	635
大	248	大	524	大	636
野	249	野	525	野	637
大	250	大	526	大	638
野	251	野	527	野	639
大	252	大	528	大	640
野	253	野	529	野	641
大	254	大	530	大	642
野	255	野	531	野	643
大	256	大	532	大	644
野	257	野	533	野	645
大	258	大	534	大	646
野	259	野	535	野	647
大	260	大	536	大	648
野	261	野	537	野	649
大	262	大	538	大	650
野	263	野	539	野	651
大	264	大	540	大	652
野	265	野	541	野	653
大	266	大	542	大	654
野	267	野	543	野	655
大	268	大	544	大	656
野	269	野	545	野	657
大	270	大	546	大	658
野	271	野	547	野	659
大	272	大	548	大	660
野	273	野	549	野	661
大	274	大	550	大	662
野	275	野	551	野	663
大	276	大	552	大	664
野	277	野	553	野	665
大	278	大	554	大	666
野	279	野	555	野	667
大	280	大	556	大	668
野	281	野	557	野	669
大	282	大	558	大	670
野	283	野	559	野	671
大	284	大	560	大	672
野	285	野	561	野	673
大	286	大	562	大	674
野	287	野	563	野	675
大	288	大	564	大	676
野	289	野	565	野	677
大	290	大	566	大	678
野	291	野	567	野	679
大	292	大	568	大	680
野	293	野	569	野	681
大	294	大	570	大	682
野	295	野	571	野	683
大	296	大	572	大	684
野	297	野	573	野	685
大	298	大	574	大	686
野	299	野	575	野	687
大	300	大	576	大	688
野	301	野	577	野	689
大	302	大	578	大	690
野	303	野	579	野	691
大	304	大	580	大	692
野	305	野	581	野	693
大	306	大	582	大	694
野	307	野	583	野	695
大	308	大	584	大	696
野	309	野	585	野	697
大	310	大	586	大	698
野	311	野	587	野	699
大	312	大	588	大	700
野	313	野	589	野	701
大	314	大	590	大	702
野	315	野	591	野	703
大	316	大	592	大	704
野	317	野	593	野	705
大	318	大	594	大	706
野	319	野	595	野	707
大	320	大	596	大	708
野	321	野	597	野	709
大	322	大	598	大	710
野	323	野	599	野	711
大	324	大	600	大	712
野	325	野	601	野	713
大	326	大	602	大	714
野	327	野	603	野	715
大	328	大	604	大	716
野	329	野	605	野	717
大	330	大	606	大	718
野	331	野	607	野	719
大	332	大	608	大	720
野	333	野	609	野	721
大	334	大	610	大	722
野	335	野	611	野	723
大	336	大	612	大	724
野	337	野	613	野	725
大	338	大	614	大	726
野	339	野	615	野	727
大	340	大	616	大	728
野	341	野	617	野	729
大	342	大	618	大	730
野	343	野	619	野	731
大	344	大	620	大	732
野	345	野	621	野	733
大	346	大	622	大	734
野	347	野			

力勞
 食糧増産のために、目下食糧の力策が計画せられてゐます。が、麥作の増産に自給肥料並びに飼料の増産にても、或ひは客土、暗渠排水、小川排水等を中心とする大規模な土地改良事業に

いづれも甚大な努力を必要とするのであつて、その成否は努力の確保如何に懸つてあるといへます。他尚、稻の脱穀調整に必要なる石油の供給は、戦局の現段階において、極端な消費現正を受けるのはやむを得ない次第であつ

て、電力の活用によつて極力その不足を補填する方策を講じてはゐますが、相當部分はやはり人力によつて補はなければなりません。また農作業の特色として、適期に適作業を完了することが増産の必須の條件であ



策せられた本年の戦期は、薄く無事に乗り切ることができましたが、來年の食糧事情を考へるときに、特に食糧増産もまた一大決戦だとの感が深いのです。下に前線では、軍の現地自活を考へ、あらゆる困難に堪へつゝ、着々と實績を擧げてゐます。このために第一線の諸部隊は、毒虫や熱病や皮膚病と闘ひ、敵の猛爆に曝されながら、一蹴々と原始林を切り拓いてゐるのです。この前線將兵の逞しい敢闘の姿こそ、今日の内地の食糧決戦の範とすべきではないでせうか。

食糧決戦への道は、要は多く作つて多く供出し、しかも耐乏生活に堪へ抜くことにあります。もちろん、このためには種々の障壁があるでせうが、所詮は人の問題で、最後までやり抜く闘志がすべてを解決するのです。政府では、去る臨時議會に十億を越す食糧戦費を計上しましたが、食糧の問題は國民全體の眞剣な問題です。今こゝに農商省にお願ひして、こんどの豫算の内容を中心に今後の食糧政策の全般を説明することにしたのも、一億が力を合せて、この食糧決戦に勝ち抜かんがためにも他ならないのです。増産に大いに頑張つて下さい。

食糧の決戦増産

逓報第 416 號附錄

改正時刻表

(主要幹線のみ)
 運輸通信省鐵道總局監修
 財團法人 東亞交通公社編輯

昭和十九年十月十一日改正

中央線										参宮線																		
名	411	413	417	419	421	423	426	401	403	名	241	201	203	205	207	名	202	204	206	208	242	名	507	805	501	823	825	829
大塚	西日守	高松	始	
王子	山崎	津島	新	
上野	山崎	本	宿	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新	
大塚	山崎	宿	新		

り、さらに、質的には、農業生産は天候の支配を受けることが多いので、工業生産などとは異なり、努力が確保されておるかどうかが生産に及ぼす影響は、決定的なものとなるのである。

なほ、この際一言しなければならぬことは、農村にはゆる農閑期といふ期間が消滅したことです。従来農村には、夏や冬には比較的閑な時期がありましたが、現在では米麦の急進な供出、大規模な土地改良事業の實施、堆肥や鹽工品の増産などによつて、もはや農閑期と稱するやうな時期は消滅し去り、一年を通じて農閑期の連続であるといふのが、戦後農村の眞の姿であるといへるのであります。

このやうな農村の努力事情に鑑み、政府においても、従来より農業労働能率の増進を圖るため、共同作業の徹底的實施、共同炊事、共同託児所の開設、役畜、農機具の動員を奨励し、また中堅農業努力の確保を圖るため、戦時農業要員制度を創設し、さらに食糧増産隊の擴充や、青少年學徒の動員など、各般の施策を講じてその補給に努めてきました。最近の急進した事態に對照して、左の非常諸方策を實施することとなり、その所要費として三千二百五十餘万円を追加費算に計上した次第です。

第一は食糧増産隊の擴充です。さきに戦時食糧増産の確保と農村後継者の養成を目標として、農村青少年三万名をもつて編成された甲種食糧増産隊(通稱少年農兵隊)は、活動実績がまことに顯著であつて、その訓練された集團行動は、優れた機動性と隊員の熱情によつて、食糧増産に驚くべき威力を發揮し、地元農業者の食糧増産の熱意をますます昂揚しつゝある状況です。この際これを擴充し、全國を通じ隊員を六万名とすることとしました。

さらにこの食糧増産隊を各市町村を單位として編成し、全國で約百万名の農村青少年をこれに編入し、各市町村母に農閑期の他の必要な時期に動員して、農耕地改良などに挺身させ、特に應召農家の労働力に萬遺憾のないやう活動させることとしたのです。

第二は學徒の動員です。従来とも農閑期の各種農作業や土地改良事業などに對して、學徒の大規模な動員を實施し、學徒諸君の至誠がよく食糧増産に發揮されてきたのですが、現下の情勢に鑑み、短期間の動員を以てしては所期の目的を達成し難い事情にあるので、この際、學徒の動員を一段と強化することとし、特に農業關係學徒はすべて通年、これを農業に動員することとし、學徒毎に隊組織に編成、各學校に分佈地域を定めて機動的に出動させ、労働力の補給に、特に學徒の有する特技を十分に發揮させることとしました。

第三は電動機の動員です。現下の食糧需給事情に鑑み、石油その他の不足に對處して、今秋の稲の脱穀調製を適期に完遂するために、この際、電動機の調期的動員をすることとし、農業團體などに電動機を買上げ、借上げ等の方法によつて、農業用電動機の共同利用はもろろん、企業整備などによる遊休電動機の動員を實施させることとしたのです。

第四は努力受入れ態勢の整備です。各種の努力の受入れに當つては、各市町村農業會で責任をもつてこれに當らせ、その樹てた努力調整計畫に基づいて適正且つ円滑に受入れをし、その効果を最大限度に發揮する態勢を整備させることとしました。

第五は勞務動員に關する指導體制の整備です。農業に對する勞務動員の重要性が加重されるに伴つて、その指導體制を整備することが急務となつたので、全國の地方事務所に專任の職員を設置して、勞務動員の實施、運営の指導監督に當らせることとしたのです。さらに地方農業會支部の活動を促進して、勞務動員と受入れの技術的指導に

驚らせることとしました。以上のやうな非常諸方策の急進かつ強力な實施によつて、農業労働の動員と受入れに萬全を期し、秋季農閑期作業の適期完遂や冬季土地改良事業などもろろん、その他各種農作業の完遂を圖り、特に應召農家の努力補給に努め、現下の努力不足を克服し、所期の食糧増産計畫の達成を期してゐる次第です。

土地改良

昨秋、内地の全農村にわたつて着手された第二次食糧増産對策土地改良事業は、爾來、官民一致の努力によつて、極めて好調な進展を示してまいりましたが、本年五月末、一〇四%の好成績をもつて一多分事業を完了し、七月末には二分多分事業、即ち小用排水の一部もすでに三五%の進捗状況を示し、明年の三月末を待たないで第三次土地改良受益面積九十七万町歩の全事業に完了し得られる見込が確実となりました。

確保を期するために、今回の帝國議會でその經費の決定をみるに至つたのです。この事業は、だいたい第二次土地改良事業の要領に準じて行はれますが、その實施面積は概ね次の通りです。

暗渠排水	十万五千町歩
客土	十四万八千町歩
小用排水	四十七万七千町歩
耕地整理	二万三千町歩
開田	五千町歩
開田	一万町歩
開道	百八十万間

第三次土地改良事業は、事業費總額が三億九千六百万円に達する見込で、これに對する補助金總額は二億五千万円となつております。第二次土地改良事業では専ら暗渠排水に重點を置き、一舉にして二十三万町歩に及ぶ濕田改良を完遂したのですが、第三次土地改良事業で約十一万町歩の暗渠排水を實施すれば、内地において急速に實施し得る暗渠排水は、これでたいい解消される見込です。

また客土は生産力の低い土質不良の耕地に對し、適當な土壌を他から客入れし、優秀な生産力の高い耕地に改良するを目的としておりますが、時局下、重要資材を要すること少く、努力さへあれば比較的簡単に實施し得られるので、第三次土地改良に對しては、客土を出るだけ廣範圍に實施して食糧の緊急増産を期することとしました。老朽土壌の更新を期するため、特に農家の理解と協力を願ひする次第です。この客土事業に對しては、地方長官が重要と認める場合には特に事業費の八割まで補助し得る途を拓いてあります。他の土地改良事業には五割乃至六割五分の補助金しか交付されないのに、客土には八割まで補助し得ることとしたのは、あらゆる困難を克服して可及的廣範圍に客土を實施し、これによつて食糧の緊急増産を期待しようとするにほかならぬのです。皇國の興隆を賜する決戦下において、いよゝ昂揚した全農家の増産意欲を更に一段と奮ひ起し、第三次土地改良事業の完遂によつて、米麥の大増産を確保し、食糧自給態勢を確立するため、格段の努力をお願ひする次第です。

麥

來年の食糧には、今年の秋播付けられる麥の増産に大きな期待が懸けられております。現下の諸事態に即應する施策を講じて、増産達成の萬全を期するため、今回臨時議會に追加豫算を提出し、協賛を得た次第です。すなはち、適期播種確保については、

配給統制の強化

青果物

青果物の配給関係は最近ますます窮乏になりつつある。特に大都市や新興の工場、山地帯等、人口集中の激しいところでは、蔬菜の不足が目立つて深刻となり、戦時下の国民生活の安定、戦力の増強といふ點から考へても、早急解決せねばならぬ重大な問題となつて來てゐるので、農商省として、も再考に出張するやうにするため、生鮮、葉、根、果、価格等、それ／＼の部門について打聞の途を講じてゐるのであるが、相手が生もの腐り易いといふ關係もあり、非常に苦心をしてゐる次第です。

この蔬菜の特性といつたものを十分考慮した結果、價格については、先般その取扱に特別の方法を採用して、發賣に應じて彈力性のある運用がしてゆけるやうに改められたことは、承知の通りですが、價格を上げたり下げたりでは、今日の情勢からいへば直ちに供給が円滑となり、出廻りがよくなるものとは考へられません。即ち、どうしても出荷配給機構を整備強化して、少しでも多く出して貰ふやうにする、出しよくす

可給地に對しては不稼地播を奨励すると共に、芽出播などの方法をとりとせざるやうにしますが、農村努力の逼迫や前作物の收穫期などの關係上、どうしても播種期が遅れ、著るしい減收が豫想される場合には、計画的に移種栽培を實施させることにしました。

次に段取り收穫の引上げについては、従來に引續いで耕種改善規程に準據して、適期適作業の完成を期するほか、本年度においては廣く播種栽培を行はせることとしました。しかし、この廣く播種栽培は肥料、努力からみて、集約的栽培法です。その實施については、選算のないやうに行ふ必要がありません。即ちこの栽培法は適期播種を不可缺の要件としますので、農家の勤勞の強化に依つては、もちろんですが、播種期の確保と均一播種を圖るため、能率の高い播種機の購入について補助をすることとしました。なほ集約的な手入作業を確保するため、中耕、土入について、これを土機、土入器の導入などによつて、これを完遂してゆく方針です。

また、肥料については配給肥料、とりわけ有機肥料が著るしく減少してゐるので、堆肥などの自給肥料の増産を敢行することと、施肥法の改善によつて、これを補填させることとし、相當の増産を圖らうと考

菜蔬

へてゐます。

なほ移植栽培、廣く播種栽培については、新らしく實施するものも少くないので、集約的な技術指導を加へるため、講習講習、實地講習會などを開催するほか、精農家を選んで、地方廳において實地指導員に任命嘱託し、當時適期指導に當らせることとしました。(栽培方法については本誌前號「菜を増産しよう」を参照されたい)

わが國では最近、蔬菜の生産がやゝ不振であつて、都市などに對する供給はかなり減退してしまつた。殊に本年は、昨年の夏、切風、茄子などの十分な供給があつたのに引替へ、冬の不足期から引續いて、豊富な供給のあるべきはずの六、七月も、作付の減退や、早刈の影響で、不足續きで経過したので、もちろんこれからの秋野菜の出盛りに、相當供給は緩和されるものと思はれますが、これに對しては、早春にかけての蔬菜不足期に對しては、こゝで十分な対策を講ずる必要があらう。

そこで農商省では、今年の秋多作蔬菜の増産については、特に各種農作物の綜合作付計畫の實施によつて、蔬菜は特に出荷を確保ならしめるためと、これを繰送事情と

る、また出して貰つたものが間違ひなく消費者の手元に届くやうにする、といふことが何より必要なわけです。

そこで、このやうな態勢の基礎をしっかりと据ゑるため、今後は農商省で、中央農業會にも十分協力して貰つて、青果物の出荷計畫を立てて地方長官に示し、地方長官は地元を系統農業會とよく連絡して地方の計畫を策定、供出計画を十分徹底して行進させ、強い責任觀念に基づいて正確に出して貰ふ仕組とすることとしました。出荷に關する地方長官の責任の強化といはれてゐるのがこれです。

なほ、青果物の出荷供出が計畫に従つて確實に實行されるためには、青果物の生産される所、ものある所でしつかり統制をとり、計畫通り正しい方法で出すやうに積極的に努力し、閑や横流し、買出しといつた現象を根絶しなければなりません。このため、従來も産地の出荷團體に、検査や共同出荷をしつかりやるための費用を助成したりして、出荷團體の整備強化に努めて來たのでありますが、今後一層、下部の町村出荷團體から更にその末端に至るまで割當を行渡らせて、その確實な實行を圖ると同時に、當時に指導や監視をし、連絡もよくすることが必要です。

か、生産關係を覗み合せて、蔬菜の特産地に對して重點的に割當をすることとし、また肥料とか、その他の蔬菜の生産に必要な資材の供給も考慮してゐるのですが、さらに、今回開かれた臨時議會に對し、鹽鹼地、鹽漬地、二葉スル經費、を提出し、決定をみました。その狙ひとするところは、蔬菜の重要性を生産者に徹底し、秋多作蔬菜、特に越冬期における蔬菜の生産と供出の確保とを圖るにあるのであつて、次に主な施設について説明を加へることとします。

(一) 蔬菜作付確保事業補助

今年の夏、閣議決定をもつて蔬菜の供出を産地府縣の地方長官の責任制にしたので、これを完遂するために、府縣では地方農業會の協力を得て、蔬菜の特産地に向つて蔬菜生産と供出を割當すると同時に、特産地がその課せられた使命を果せるやうな態勢を指導助長しなければならぬので、これに必要な指導費について府縣に對し助成するものです。

(二) 嚴寒期蔬菜増産施設補助

今までは、嚴寒期にも小笠原、茨城といふやうな遠隔地からも入荷があり、また温室物などの供給もあつたのですが、これが杜絶した今日では、なるべく近距離

の産地からの供給に俟たなければならぬとすると、内地の一、二月の気温では、蔬菜の生産はなかな／＼困難です。そこで、まづ小笠原、京葉、大阪、小松、高松、三浦大根のやうな、こゝ剛寒性の強いもの普及を圖ると共に、嚴寒期の寒風、嚴霜を防いでやる必要があるもので、寒防の笹竹を立てるとか、その他の簡易な防寒施設に助成をして、この時期の生産を可能ならしめるやうにします。また、秋に貯蔵性に富んだ大根、人参、牛蒡、甲芋のやうな根菜類や、甘藷、結球白菜などを増産して、これを十二月の出盛り期に出荷の調節も兼ねて、島の一期に土火式の簡易貯蔵をして、一、四月の不足期に逐次出荷を圖るやうに、これの普及促進のため助成金を交付することにしました。

(三) 主要特別増産獎勵事業補助

玉葱は貯蔵力に富んでゐるので、五、六月に收穫して、秋野菜の出盛り期まで、いつでも不足時に機動的に出荷が可成ります。また、葉玉葱としても、四月の春野菜の出廻り前に供給が可能なので、新たに東京都に對する供給地でも増産を圖ることとし、増産上、特に重要な關係のある育苗の改善に資するため、農事實行組合などでの共同育苗に對して助成金を交付することにしました。

また、このやうにして零細な品物まで徹底して集荷供出をして貰ふためには、手近の集荷所に手廻り持つて来て貰ふやうにする必要があります。そこで、今度の追加豫算は、主要な町村出荷團體にはその土地の適當な人に頼んで集荷供出の指導監督に當つて貰ふため、全国で二、五八二八分の手當と、町村に設置する小集荷所計二千箇所の費用とを計上した次第ですが、その實施に當つては、先般決定した「農業供給團設定要綱」に基づく指定生産地に重點を置いてゆく考へです。

魚介類

魚類の供給を確保するといふことは、戦時下國民生活を安定させ、戦力を増強する上からみて重要なことですが、その根本となる漁業生産の現況は、数々の悪条件に阻害されて、減少の一途を辿つてゐることは海に於けることです。殊に最近、東京とか、大のやうな主要消費都市は魚類供給の不足がひどく、憂慮されてをります。魚類の集出荷配給の徹底強化を図ることが大切なので、政府は今年四月「生鮮食料品の出荷配給機構の整備強化に関する件」を閣議で決定しました。これに基づいて主要消費地域の六大都市については、新たに統制會社によつて公共性をもつた魚類配給統制

物産水

魚、鱒、鱈、鮭などのやうな一時に多量消費される魚類は、相當高度に食糧化されてゐる現在でも、なほ豊富に漁獲される場合には、設備、労力、資本などの關係から、やむを得ず肥料にするよりほか方法のないことがありまゝです。しかし、このやうな場合に、これを塩蔵魚に製凍することは操作が最も簡単で、比較的労力を要せず、大量生産に適した方法です。

殊に最近の食糧供給状況、輸送の實際などからみて、加工食糧品の増産を圖つて、決戦下、動物性蛋白質を確保することは喫緊の要務ですが、魚類の加工としては、資材、労力などの點から考へて、塩蔵魚の増産を圖ることが最も有効適切なものと認められ、今回の臨時豫算で三百五十万円の豫算を立て、主要生産地に塩蔵設備の助成をすることになりました。しかも、戦時下、資材を必要とする施設はできるだけ避けねばならないので、今回は酒、味噌、醤油醸造業などの企業整備によつて不用となつた醸造用桶を塩蔵用桶、貯蔵用桶に転換用することにし、その買入費、輸送費、改

自給肥料

修費、貯蔵場建物の費用などに對して補助金を交付するもので、全国主要生産地百ヶ所を選定して設置させる豫定です。自給肥料を増産することは、農業生産の確保、農業經營の安定にとつて極めて重要な事情です。すなから、従来から各般の施設が講ぜられ、懸命の努力が拂はれて來ましたが、今日、その意義は、はいよ／＼重大となつて來ました。そして時局下、農業生産の根幹として、萬難を排しても増産の増産を期さなければならぬ状況にあります。

自給肥料の主なものには堆肥(厩肥)も含む、緑肥、灰、人糞尿、家畜および家禽の糞尿などが、なかでも堆肥は最も重要なものです。農商省では今秋播付けられる麥作に對して、その栽培面積段當り最少三百貫の堆肥を確保するため、本年收穫された麥の全量を完全堆肥化すること、本年夏季から秋季にわたつて、草類を徹底的に刈取つて利用することを目標として、去る七月一日から全国に亘つて「麥作堆肥確保運動」を實施し、關係各方面の絶大な協力の下に、全農村を挙げて、或ひは草刈に、或ひは堆肥の

會社を設立して、荷受機構の整備を完了したのでありますが、こんど更に集出荷の整備強化を期することになりました。

これによると、魚類の出荷については地方官が責任をもつて出荷することとなり、その出荷計畫の實施については、當該都府縣の水産業會が直接出荷の責任機關となることになりましたが、運送に遺憾なきを期するため、次ぎのやうな補助金を交付することになりました。

地方公共團體補助 これは關係都府縣に毎年四半期毎に魚類の出荷計畫を圖つて、その出荷の指導監督に當らせるために、沿海三十八都府縣に必要とする事務費を補助して出荷を確保すると同時に、地方廳當局、地方水産業會、漁業會、地方漁道當局關係官その他關係業者を集めて出荷の協力を開催させ、出荷計畫の實行に萬全を期するものです。

出荷機関(魚類出荷統制施設)補助 これは直接の出荷責任機關である沿海三十八都府縣の水産業會の出荷事務費に對する補助と、直接の出荷面を擔當してゐる當該水産業會の下部組織である漁業會、九四一を置いて専任職員を置き、出荷の實施に遺憾なきを期するために必要な俸給と事務費の補助とを含んだものです。

積込に、烈々たる政調が續けられて來ました。しかし販賣肥料、特に有機肥料やカリ肥料の供給が、ますます逼迫しようとする趨勢に對して、自給肥料増産の必要が、いよいよ切實になつて來たので、こゝに自給肥料緊急増産施設を實施することとなつたのです。

この施設の主眼は、本年の麥作その他多年の夏作用の堆肥についても、本年度内に堆肥の増産をやり遂げるため、山野草の刈取とその堆肥の強化、堆肥増産指導獎勵施設の擴大と堆肥増産に對する報奨的措置などを講ずる、一方、農用役牛馬や鶏などの飼育の普及によつて、厩肥、家畜尿、鶏糞などの増産を圖らうとするもので、その要領は、だいたひ次のやうです。

(一) 肥料自給強化動員施設 過渡、農商省と文部省と協議の上、「堆肥及び飼料確保草刈完遂奨励員要領」を定め、主として國民學校初等科四年以上の男女児童と男女中等學校生徒と、延人員約一億五千万人動員して、その協力を求め、これによつて、本年夏季から秋季にわたり、山野草約二十六億貫を刈取り、これを堆肥に積込み、また一部は乾草にして飼料を作ることとしたのですが、今回これら生徒の出動に

要する經費を交付すると同時に、出動のために必要な草刈鎌の補助費をも支出して、生徒の出動を強化促進することとなつたのです。

(二) 堆肥の増産確保施設 堆肥の大規模な計画的増産を貫徹するため、都府縣や系統農業會等における堆肥の増産に對する指導獎勵を強化するとともに、堆肥の増産に對して、「堆肥増産報奨金」を交付して、堆肥の増産に對する熱意を責任感と一段と昂揚して、その完遂を期することになつたのです。堆肥のやうなものが増産を對象として、報奨的措置が講ぜられたことは、歴史的なことで、これは堆肥の増産が今日、如何に重大な國家的要請であるかを明らかに示してゐるものだから、この要請に應へて關係者の奮起が大いに期待されてをります。

堆肥増産報奨金は、だいたひ次の要領によつて交付されることになつてゐます。(一) 報奨金は昭和十九年七月一日から昭和二十年三月三十一日までの期間(指定期間)に堆肥の計画的増産を完遂した部落に對して交付する。(二) 地方長官は市町村農業會をして堆肥増産審査會を設置せしめ、審査會は市町村長、市町村農業會長、國民學校校長及び

食糧増産班長等を以て組織する。

(三) 指定期間における堆肥の新規増産目標は全縣(道)を通じて昭和十八年度における生産量の二割五分以上とし、地方長官は審査官をしてこの新規増産目標に基づいて各部落単位に指定期間における堆肥の新規増産目標を決定して承認を受けしめる。そしてこの新規増産目標は昭和十八年度における生産量の二割五分以上とし、且つ昭和十八年度における生産量と新規増産量の合計が昭和十八年度における各種農作物の作付面積に對し、豫當り三百貫を下らないものとする。しかし部落における堆肥原料等の事情を勘案して酌量を加へることを妨げない。

(四) 市町農業者は部落に、各部落単位に新規増産する堆肥につき堆肥積場を建設し、堆肥(堆肥場)を、これに共同積込を行はしめる。

(五) 審査官は委その他、多作用の堆肥施用前の適當な日と昭和十八年四月一日を審査日と定め、各部落単位に審査當日、現在積込堆肥場に積込まれた堆肥量を調査する。審査日前に施用のため積込堆肥場から堆肥を移動せんとする場合は、豫

じめ審査官に申請させて繰上げ審査を行

ひ、その量を最終審査日における量に合算する。但し特設堆肥場以外における積込堆肥についても、この限り方に準じて審査し、積込總量が前年の積込總量に對して増減のあつた場合は、當該増減量を特設堆肥場における堆肥量に加減して新規増産量を決定する。

(六) 新規増産目標の決定と審査は所轄地方事務所長、もしくは都道府縣農業會支部長、またはその代理者立會の下に行ふ。

(七) 審査の結果、生産された堆肥量の合計が新規増産目標以上に達した部落に對し、新規増産目標十貫(鶏糞切捨)につき三十銭の割合で奨励金を交付する。

(三) 畜産振興施設
肥料自給のためばかりでなく、努力の關係から畜産の普及を圖ることは極めて肝要なので、自給肥料緊急施設の一環として、無畜農業家に對しては牛、馬を、また無畜農業家に對しては鶏を計画的に導入し、有畜化を促進しようとするもの

す。このうち、牛については種々ありますが、その一は牛の購入普及に關する施設で、無

畜農業家約百十万户に對して役用牛を導

入普及することを目標として、國內の主要生産地帯から牛を買上げ、これを都道府縣を通じて市町村または農業會に貸付けんとするものです。本年度は當該約七万頭の牛を買上げて貸付ける計畫です。貸付する牛はだいたい六ヶ月以上の齢で、貸付期間は、牛はだいたい一年、牝は三年となつてゐて、期間満了後は購入原價を拂下げするが、生れた積を收得した上で無償譲與することに なります。

その二は牛の利用増進に關する施設で、農牛としての利用を増進するため、貸付牛の去勢を補助するほか、貸付牛を収容する牛舎床の改造、堆肥場の設置などに對して助成をします。また一方、貸付牛の調教並びに時局下、主として婦女子に對する使役管理技術の指導を行ふ場合に、その費用に對して助成することになつてゐます。さらに農村勞力の不足克服に資するため、犁や中耕除草機を一組とし、およそ貸付牛十頭につき三組の割合で購入費を助成します。なほ牛を新たに導入した地帯には、飼育技術を普及向上させるため、全國で千四百名の嘱託指導員を農業會に設置させ、これに對しても助成をする考へです。

自給飼料

主要食糧の増産完遂を期する
ために、肥料事情や努力關係から有力な一翼を擔ふものは畜産資源の増強であつて、この増強を圖るためには飼料の供給を確保することが緊急不可欠の要素です。ところが最近の飼料事情は著るしく逼迫してきて、

本年度の飼料需給推算をみると、濃厚飼料に換算して約百五十万トンの不足を來すことになり、従つて、このまゝでは食糧増産の原動力である家畜の減少を招來するおそれがあるので、この際、自給飼料給源の徹底的増強を、不足量の補填をするために従來の施設をさらに擴大強化するため、今回の臨時議會に自給飼料緊急増産施設として追加推算約七百三十万トンを計上し、容認されたのであります。これまで實施してきた主な増産施設としては、飼料作物の原種圃や採種圃の經營、サイロ(埋藏槽)、石灰沈澱槽などの増設、青少年團、聖徒その他、勤勞團體による自給飼料増産運動、自給飼料の増産利用に必要な知識の普及向上施設、技術傳習會の開催などに對して相當の補助金を交付してありますが、さらに

今度、新たに計畫された自給飼料の増産施設としては、

- 一、空荒地を利用して飼料作物を作付する場合、學徒等の動員に要する經費。
 - 二、飼料作物栽培のため未利用地を開墾するに要する經費。
 - 三、飼料作物の増産に必要な種子購入費。
 - 四、林野内の飼料資源を利用するために必要な設備費。
 - 五、純牛馬の飼料を確保するための諸設備の經費。
 - 六、粗飼料の簡易な集積場を設置するに要する經費。
- などに對して、それら補助金を交付するものであります。しかし、もとより飼料の必要量を確保するためには、右の諸施設のみによつては十分でないから、さきに表示された飼料緊急對策要綱によつて、あらゆる手段を盡して飼料資源の増強活用を努むべきですが、今回決定をみた綜合作付計畫による飼料作物の栽培についても、一段の工夫研究を加へて収量の増加を圖り、現下の逼迫した飼料事情に即應する自給飼料の増産に努められたいのであります。

その三は牛の生産増進に關する施設で、これは畜産資源の北下の稠密な地帯において人工交配法による種付を奨励するとともに、畜産を向上させるため、畜産障礙除去に對して藥品、藥品の購入費を補助する一方、生産割當なども行つて、計畫頭數の生産確保を期する考へです。

馬については、本年度に於ては大體二万頭を購買し、都道府縣を通じて市町村または市町農業者會に貸しつけ、市町村または市町農業者會はこれを無畜農業家に飼育させます。貸付馬は當該または明二歳とし、一町村當り十頭以上を取扱つて貸付するのであり、貸付馬の貸付期間は二箇年以内で、貸付期間満了後は購入原價を拂下することになつてゐます。導入馬の利用については、馬肥の徹底的利用増進のため、畜舎、尿溜、糞肥槽などを設置し、また畜力、糞肥の普及を圖り、貸付馬の利用を促進することになつてゐます。

鶏については、自給飼料による養鶏を普及するため、町村農業者會に共同養鶏事業を行はせて助成すると共に、だいたい一郡一ヶ所の割合で温床育雛等の特殊技術の講習會を開催し、これに對しても助成をすることになつてゐます。

保確の苗種

甘藷 元來、諸類は種苗から苗を作つて木苗に植ふる關係から、その種苗からの増殖が比較的早く、従つて優良新育成品種については、これが一般栽培にまはるるまでには少くとも三ヶ年かゝり、大面積の普及にはなほ相當の年月を必要とします。戦時下、緊急増産の要請に即應することができなかつたので、そこで本年度追加獲算として計上された種苗費の中に含まれる新育成品種特殊採種事業は、この新育成品種の普及を目標とするもので、温泉熱利用による加熱栽培や不発作物用の温室を利用して、一定量の種苗からの採種本数の増加、苗期間延長などによつて、急速に新品種の普及を擴大しようとするものです。また採種責任團體指定事業は、これによつて都府縣指定の採種栽培地を設けて、所要種苗の責任確保を行はせようとするものです。

馬鈴薯 現在、馬鈴薯の採種栽培は北海道、内地一部地方及び内地高冷地帯などで經營されてゐますが、内地には採種栽培の適地が乏しく、そのため毎年北海道から多量の供給輸送を受けてきました。ところが、戦局の苛烈な推移は輸送事情の逼迫と不測の事故の危険が多い實情に鑑み、内地自給を確保する必要があるため、その一方策として、西南省の海岸地帯に適地を選んでは、秋作馬鈴薯採種保護地を設けて、北海道依存の軽減を図ることとしました。また、水田の裏作に馬鈴薯の栽培される面積は約五万町歩ありますが、この裏作栽培では水稲の植付を適期に行はねばならぬ關係上、早刈を必要とするので、増産を図るにはどうしても植付前に催芽操作を行ふ必要があります。そこで、二十年度においては、最も水稲植付の急を要する地帯を選び、一万五千町歩を目標として、二十万五千坪の簡易な催芽床を設備させ、催芽操作を行つて増産を図らうとするものです。

蔬菜 本年は特に、前年からの持越種苗が皆無に近かつたこと、作付の減退それに氣候の影響も手傳つて、今期の秋播種は、大根をはじめとして、不足のものが少くありませんでした。これでは今後の蔬菜増産にも支障があるので、その確保については、採種面積を農商省から各生産府縣に對して割當て、各府縣はさらに、これを從來優良種苗の生産地といはれる種苗の生産地に重點的に確保するとともに、これに必要な肥料その他の資材の供給を圖り、さらに現在の種苗の公定価格は安い、生産費が償はない、といふ弊があるのに鑑み、増産に支障のないやう、價格の改訂についても目下鋭意取進め申すが、差當りこの対策として、

甘藷 元來、諸類は種苗から苗を作つて木苗に植ふる關係から、その種苗からの増殖が比較的早く、従つて優良新育成品種については、これが一般栽培にまはるるまでには少くとも三ヶ年かゝり、大面積の普及にはなほ相當の年月を必要とします。戦時下、緊急増産の要請に即應することができなかつたので、そこで本年度追加獲算として計上された種苗費の中に含まれる新育成品種特殊採種事業は、この新育成品種の普及を目標とするもので、温泉熱利用による加熱栽培や不発作物用の温室を利用して、一定量の種苗からの採種本数の増加、苗期間延長などによつて、急速に新品種の普及を擴大しようとするものです。また採種責任團體指定事業は、これによつて都府縣指定の採種栽培地を設けて、所要種苗の責任確保を行はせようとするものです。

馬鈴薯 現在、馬鈴薯の採種栽培は北海道、内地一部地方及び内地高冷地帯などで經營されてゐますが、内地には採種栽培の適地が乏しく、そのため毎年北海道から多量の供給輸送を受けてきました。ところが、戦局の苛烈な推移は輸送事情の逼迫と不測の事故の危険が多い實情に鑑み、内地自給を確保する必要があるため、その一方策として、西南省の海岸地帯に適地を選んでは、秋作馬鈴薯採種保護地を設けて、北海道依存の軽減を図ることとしました。また、水田の裏作に馬鈴薯の栽培される面積は約五万町歩ありますが、この裏作栽培では水稲の植付を適期に行はねばならぬ關係上、早刈を必要とするので、増産を図るにはどうしても植付前に催芽操作を行ふ必要があります。そこで、二十年度においては、最も水稲植付の急を要する地帯を選び、一万五千町歩を目標として、二十万五千坪の簡易な催芽床を設備させ、催芽操作を行つて増産を図らうとするものです。

蔬菜 本年は特に、前年からの持越種苗が皆無に近かつたこと、作付の減退それに氣候の影響も手傳つて、今期の秋播種は、大根をはじめとして、不足のものが少くありませんでした。これでは今後の蔬菜増産にも支障があるので、その確保については、採種面積を農商省から各生産府縣に對して割當て、各府縣はさらに、これを從來優良種苗の生産地といはれる種苗の生産地に重點的に確保するとともに、これに必要な肥料その他の資材の供給を圖り、さらに現在の種苗の公定価格は安い、生産費が償はない、といふ弊があるのに鑑み、増産に支障のないやう、價格の改訂についても目下鋭意取進め申すが、差當りこの対策として、

甘藷の貯蔵

貯蔵の要旨 甘藷の貯蔵には生甘藷としての貯蔵と、甘藷を加工して切干や糖粉・澱粉としての貯蔵とがあります。ここでは生甘藷の貯蔵について述べることとします。いふまでもなく生甘藷の貯蔵では、水分七割程度もある生物を貯蔵するので、その生活力をつい、すなはち呼吸作用は替むが休眠の状態にあるやうにし、その上、病氣にからさないやうな方法を講ずる必要があります。これを具體的にいへば、無病であり、病菌に犯されないやうに注意し、その上、貯蔵場所の温度、湿度を生甘藷の現状維持に適したものとすおかねばならない

貯蔵の準備 貯蔵の難易 一般に甘藷は、その栽培された環境の影響を受けて、貯蔵に對する適否は同一品種でも一様でなく、土壌の乾燥、土中養分の相違、甘藷の成熟度の老若などにより貯蔵の難易があり、その上、品種による

貯蔵方法 貯蔵中はまづ呼吸熱により温度が十八度以上の温度になることを警戒し、また一〇度以下の低温とならないやう換氣孔や被覆物を調節します。この貯蔵の適温を保つための方法としては、なるべく外界の温度がこれに近いやうな所を選ぶこと、すなはち地下恒温層(東京附近を例に



九月二十七日(水)
中支那方面我が軍は全線
おとすまで前進し、湖南方面
重慶の重要要路を占領し、

九月二十八日(木)
我が軍は九月二十七日
六月湖南方面に侵入し、

九月二十九日(金)
我が軍は九月二十八日
六月湖南方面に侵入し、

九月三十日(土)
我が軍は九月二十九日
六月湖南方面に侵入し、

十月一日(日)
我が軍は九月三十日
六月湖南方面に侵入し、

我が家の家訓

今日種々不安定な世の中
今日種々不安定な世の中
今日種々不安定な世の中

現場に生活相談所を

この大工場に開設して、つく
この大工場に開設して、つく
この大工場に開設して、つく

百姓の願ひ

次ぎの事項を研究願ひま
次ぎの事項を研究願ひま
次ぎの事項を研究願ひま

業員の実感

お互に助け合ふべきであ
お互に助け合ふべきであ
お互に助け合ふべきであ

が部隊はその戦いよりも一兵
に死すまで前進し、湖南方面
重慶の重要要路を占領し、

我が軍は九月二十七日
六月湖南方面に侵入し、

この大工場に開設して、つく
この大工場に開設して、つく
この大工場に開設して、つく

次ぎの事項を研究願ひま
次ぎの事項を研究願ひま
次ぎの事項を研究願ひま

お互に助け合ふべきであ
お互に助け合ふべきであ
お互に助け合ふべきであ